

令和6年度全国学力・学習状況調査 伊予市調査結果概要

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査の概要

- (1) 調査実施日 令和6年4月18日（木）
- (2) 調査実施校及び調査学年・児童生徒数
小学校9校（第6学年298名） 中学校4校（第3学年266名）
- (3) 調査の内容
 - ① 教科に関する調査（国語、算数・数学（中学校））
 - ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

3 教科に関する調査結果の概要

教科別の平均正答率は、小学校算数は全国平均を上回った。また、中学校国語は、全国平均を大きく下回った。小学校国語、中学校数学においては、全国平均を若干下回った。

<小学校調査正答率>

	国 語	算 数
伊予市	6 6	6 4
愛媛県	6 7	6 4
全 国	6 7. 7	6 3. 4

<中学校調査正答率>

	国 語	数 学
伊予市	5 5	5 1
愛媛県	5 6	5 2
全 国	5 8. 1	5 2. 5

※太字は、全国平均以上

4 質問紙調査結果の概要

「将来の夢や目標を持っていますか」の質問には、小・中学校とも、継続的に肯定率は高い状況で、良好な状況が続いており、学校におけるキャリア教育の充実が伺える。

「自分で考えをまとめる活動」は、小・中学校ともに全国平均に近いポイントとなっており授業改善の成果であり、児童生徒の「深い学び」が実現されつつある。しかし、中学校「資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表する」の項目では、全国平均と比較した肯定率にも大きな差があり、言語活動を重視した授業改善が望まれる。

「国語、算数（数学）について授業の内容がよく分かる」と答えた児童生徒の割合は、全ての教科において全国平均を大きく下回っており、引き続き課題である。

「学校の授業時間以外に、平均1日1時間以上勉強をしている」と答えた児童生徒の割合は、小学校は過去3年間継続して上回っており良好な状況である。しかし、中学校は大きく下回っており課題である。

<将来の夢や目標について>

	質問項目 11 番	R 4 (全国)	R 5 (全国)	R 6 (全国)
小学校	将来の夢や目標を持っていますか。	88.2 (79.8)	83.0 (81.5)	84.8 (82.4)
中学校		71.1 (67.3)	70.2 (66.3)	73.1 (66.3)

※太字は、全国平均以上

＜本市の重点項目について＞

	質問項目 44 番	R 4 (全国)	R 5 (全国)	R 6 (全国)
小学校	国語の授業の内容はよく分かりますか。	77.3 (84.0)	73.7 (85.7)	83.1 (86.3)
中学校		77.3 (81.2)	73.7 (80.0)	77.2 (82.7)

	質問項目 52 番	R 4 (全国)	R 5 (全国)	R 6 (全国)
小学校	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。	73.1 (81.2)	70.7 (81.2)	75.5 (82.1)
中学校		69.4 (76.2)	65.4 (73.3)	63.8 (75.7)

＜学習習慣について＞

	質問項目 21 番	R 4 (全国)	R 5 (全国)	R 6 (全国)
小学校	学校の授業時間以外に、平日平均1日当たりどれぐらいの時間勉強をしますか。(1時間以上の割合)	65.4 (59.4)	62.0 (57.2)	55.3 (54.6)
中学校		61.6 (69.5)	51.3 (65.8)	55.2 (63.3)

5 今後の取組について

この調査結果は児童生徒の学力の一部であり、全ての学力を調査しているものではありません。本市や各校における児童生徒の実態を適切に把握した上で、各校が「チーム学校」として教職員の共通理解のもと、授業改善に取り組むことが重要になってきます。

また、伊予市では平成25年度から「伊予市立学校の教育力向上推進委員会」を設置し、伊予市児童生徒の学習状況に関する課題や今後の取組について協議しています。今後、令和5年度の報告事項を修正・追記しながら、継続的、系統的な取組が実施されるよう検討していきます。

6 備 考

愛媛県教育委員会のホームページにも県や市町の結果の概要が紹介されています。

(<http://ehime-c.esnet.ed.jp>)